

GINGA REPORT 401

No. 108
2024.5

そらんぽ四日市 検索

発行日：令和6年5月1日
編集＆発行：四日市市立博物館・プラネタリウム
電話：059-355-2700

5月の星空

星図：ステラナビゲーター11/(株)アストロアーツ

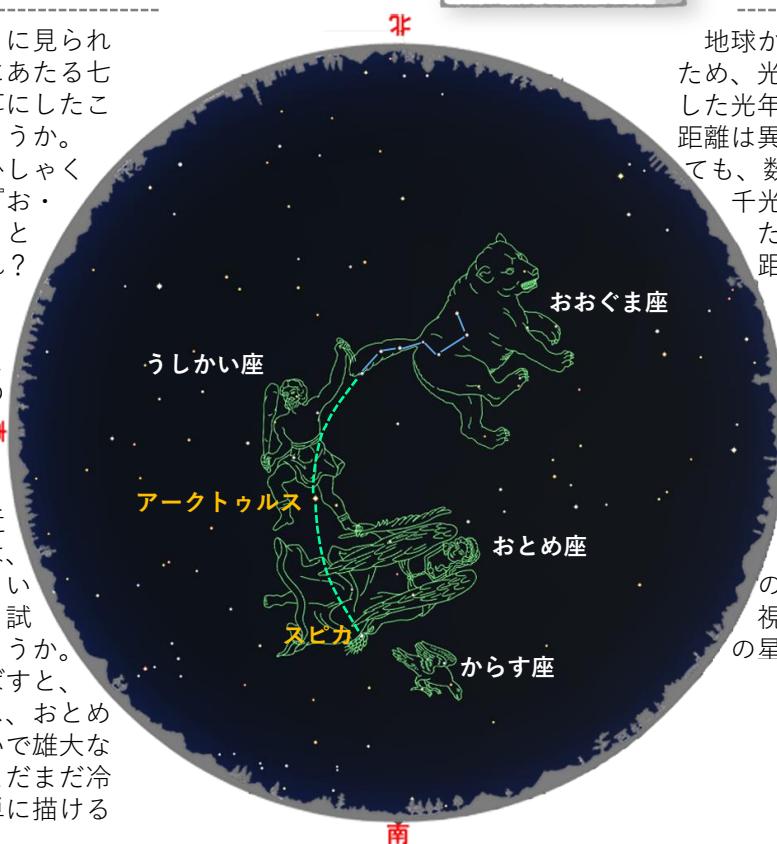
北斗七星と春の大曲線

夜空の真上から少し北寄りに見られるおおぐま座。そのしっぽにあたる七つの星、北斗七星は一度は耳にしたことがある名前ではないでしょうか。

北斗七星を見つけたら、ひしゃくの水を汲む部分の先端から『お・お・ぐ・ま・の・し・っ・ぽ』と結んでみてください。「あれ？ 七つ星だから、お・お・ぐ・ま・の・し・っ・ぽ、でしょ？」という人は、ちょっと目をこらしてみましょう。『し』のすぐ近くに、小さな『つ』が見つかるはずです。

これを二重星と言います。二重星とは、二つの星が接近して見える星のこと。昔は、兵士の視力検査に使われたといわれています。ぜひ一度、目試しをしてみてはいかがでしょうか。

そして、しっぽの先をのばすと、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座を繋いで雄大な春の大曲線の出来上がり。まだまだ冷える春の夜でも、さっと簡単に描けるのが良いところです。



天文トピック

みずがめ座η流星群極大

5月6日朝6時に、みずがめ座η流星群(極大最も活発)になります。みずがめ座の位置のため、観察に適した時間帯は短く、極大前のおよそ2時から3時半ごろです。1時間あたり5~10個くらい見られると予想されています。ただし、この流星群の活発な期間は比較的長く続くため、6日だけでなく5日の夜明け前ごろも観測できるかもしれません。この時期は月明かりもなく、流星群観測のチャンスです。

流星は放射点を中心に放射状に出現します。ただ、放射点付近だけでなくどちらの方向にも現れますので、なるべく空の広い範囲を見渡すようにしましょう。



博物館主催 スターウォッキング

博物館主催きらら号観望会

日時：5月25日（土）20:00～21:30

場所：三滝公園

内容：アークトゥルスを見よう



※申し込み不要、参加無料、天候不良時は中止。

※参加者が多い場合は受付を制限することがあります。

※天候不良等による実施判断は、開始時刻の3時間前に

当館ホームページ及びFacebookで発信します。

編集後記

南の空高くに、春の大曲線がきれいにカーブを描いているのを見つけると新緑の訪れを感じます。筆者の一番好きな時期です。

さて、今年もゴールデンウィークの時期にみずがめ座流星群が極大を迎えます。『早起きは三文の得』とも言いますので、ちょっと早起きして流星にお願いごとをしてみませんか？

5月の月

1日		下弦
8日		新月
15日		上弦
23日		満月
31日		下弦